

〈要約〉

早期定年退職選択制度導入の必要性の考察

Consideration of necessity of introducing early retirement system

田 邊 友 昭
Tomoaki Tanabe

日本の経済成長に向けて労働人口を増加させるために定年制度の有無議論がある。「40歳定年制」[柳川範之(2013)]、「選択型ゾーン定年制」[谷田部光一(2017)]、「生涯現役社会」[駒村康平(2016)]がある。正社員のモチベーションを維持し、企業が更に継続成長していくためには採用・教育・異動・代謝をする必要がある。特に代謝に関してはいつの時点で行われるのがよいものなのであろうか。現在の定年制度は60歳が多く65歳へと変わりつつある。モチベーションを高め事業成長するために正社員が選択できる定年退職制度の必要性を考察する。

キーワード： 定年制度、40歳定年、早期退職、生涯現役、正社員